

【学校教育目標】
学力の向上を図り、心豊かで健康な生徒の育成

【本年度の重点目標】
・確かな学力を育む教育の充実
・積極的な生徒指導
・教職員の研修の充実

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	改善策
学習指導	授業内容の改善	めあてとまとめのある授業展開ができているか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 2ポイント上昇し、今年度もめあてとまとめのある授業を展開することができた。	3.2 何の学習をするのか、どのような流れで学習が進んで行くのかが分かると生徒たちの学習ははかどると思います。	生徒が主体的に学ぶ授業にするために、意欲を高める導入の工夫と振り返りを重視したまとめを行っていく。
		基礎・基本の定着を図る取り組みを行ったか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 2ポイントが減少したが、基礎・基本を図る取組は継続できている。	3.3 基礎・基本だけでなく、獲得した知識を応用していく力も必要だと思います。	基礎基本を含む活用力を育成する教材集を授業で、または、宿題として、積極的に活用していき、基礎基本の定着を図る。
学習指導	授業内容の改善	授業展開前時に、書く活動の場面を設定したか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 2ポイント上昇し、昨年度以上に書く活動を意識した授業を設定することができた。	3.0 自分の考えを書くことで授業に積極的に参加できるようになれると思うので、今後も進めてほしい。	来年度は、何を、どのように書くのか。また、何のために書いているのかを明確にしていきながら、一人ひとりの書く力を向上させる。
		授業展開後時に、生徒の考えを交流する場面を設定したか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 3ポイント上昇し、考えを交流する場面を設定することができた。	3.0 発表する場があると生徒は意欲的に学習できるともうので良いと思います。	来年度は、考えを交流する目的や交流の方法が明確化された場面となるように工夫する。すべての授業で交流する場面は難しいので、単元計画の工夫も必要である。
学習指導	家庭学習の習慣化	各学年で、家庭学習(自学ノート)の継続的指導ができたか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 2ポイント減少し、継続的な指導ができなかった。	2.9 点検するのも大変ですが、家庭学習を意欲的に行う工夫をお願いします。	家庭学習のやり方について、何をどのようにするのか、学校全体で確認して家庭学習を行わせる。
		家庭学習時間の増加のために、課題(特に、週末)を与えることができたか ----- ＜結果＞ 昨年度より0. 3ポイント減少し、教科によってばらつきがあった。	2.8 毎週課題を集約するのは大変だと思いますが、宿題がないと勉強しないと思うので頑張ってください。	週ごとに週末課題を与える教科を確認して、必ず課題が出されるように、また、課される量の管理を徹底する。
	総合所見	授業内容の改善については、昨年度より取組が行われるようになってきている。評価の上昇は、研究主題に即した全体研修の成果や授業者の意識の変化が表れたものであると考える。しかし、家庭学習の習慣化については昨年より良い結果になっていない。家庭学習の習慣化について、家庭学習の仕方を具体的に生徒に示し、取組の改善を図る必要がある。		

生徒指導	落ち着いた学校づくり	全教師で清掃指導にあたることができたか ----- 昨年度より0.3ポイント減少したが、校舎改築後のきれいな校舎を生徒は維持しようと努力している。	3.2	先生も生徒共に清掃活動に取り組んでいることは大切なことだと思います。	担当教師による点検を徹底させ、点検のサインがないと清掃が終われないようにするなどの取組の改善を図る。
	意欲的に清掃に取り組ませる手だてをおこなったか ----- 昨年度より0.1ポイント減少した。	2.9	校舎改築によってきれいになった校舎を維持して欲しい。	生徒会活動の取組の1つとして、環境美化コンクールを実施し、生徒が意欲的に楽しみながら清掃ができるように工夫する。	
生徒指導	生活習慣の改善を図る生徒指導	不登校傾向にある生徒への連絡を密に行ったか ----- 昨年度と同じ評価となった。	2.8	不登校になった生徒や不登校傾向にある生徒に対して、どのように対応してきたのかを知ることができた。	生徒へのアクションについて、山田中学校独自のアクションプランを作成し、関わり方の共通理解と共通実践を図る。
	他機関と連携して不登校解消に取り組めたか ----- 昨年度より0.1ポイント上昇した。教育相談・不登校対策委員会の手立てにより不登校の解消は進んだ。	2.6	学校と関係機関と連携してきた結果、不登校生徒数が減少してきたと思うので、今後も続けてほしい。	教育相談・不登校対策委員会で、お互いの気になることについて常に情報交換を行っていく。必要に応じて、個別の会議を開催する。	
	総合所見	落ち着いた学校づくりとして、清掃指導の徹底を行ってきたが、昨年度より評価が下がっている。改善策をもとに取組の改善を図り、全職員・全生徒できれいな校舎、落ち着いた学校を維持していく。昨年度に引き続き、教育相談・不登校対策委員会での協議、関連機関との連携によって、不登校傾向にある生徒数の減少に成果が見られる。来年度は、さらに不登校の解消に向けて、今年度の課題として残されたことを中心に取組を進めていく。			
職員研修	校内研修の充実	学校の課題に対応した全体研修を行うことができたか。 ----- 昨年度より0.2ポイント上昇した。研究主題に関わることや、特別支援教育に関してカウンセラーによる研修を行った。	2.7	分かる授業にするために、生徒の実態に応じた研修は大切だと思います。	嘉麻市の研究指定校発表会に向けて、研究主題に即した研修を来年度も実施していく。
	一人一回の授業研に取り組むことができたか ----- 昨年度より0.1ポイント上昇した。	2.8	一人ひとりの先生が研究に取り組んでいくことによって、生徒の学力が向上していくのだと思います。	一人一回の授業研究を2学期中に実施する。また、参観する先生の授業を観る視点を明確にする必要がある。	
職員研修	校外研修の参加	嘉麻市教科研修会やセンター研等へ積極的に参加することができたか。 ----- 昨年度と同じ評価だった。県教育センター等を中心とした研修への応募を推奨してきた。	3.3	学力が右肩上がりになってきているので、今後も多くの先生方が様々な研修に参加され、生徒に還元してほしい。	校外での研修で学んだ内容を交流する機会を増やし、学びを深めていく必要がある。
	総合所見	嘉麻市の研究指定校の1年目であり、研究主題に即した全体研修や授業を行うことができた。来年度は、さらに研修内容の充実を図り、授業内容の改善を進めていく。不登校生徒数は減少したものの、目標達成はできなかった。効果があった取組は継続させ、関係機関等との連携の在り方を見直し、不登校の解消や新たな不登校生徒を生まない取組を行う必要がある。			